

第7回敦賀市総合計画審議会 意見概要

日時：令和3年1月18日10時00分～

場所：敦賀市役所 4階 講堂

委員 A

- ・C チームで『いいね体験プロジェクト』を提案させてもらったが、提案事業4のケータリングカーは、食品に偏ったものを想定している。
- ・キッチンカーとかケータリングカーの購入について、何のジャンルのケータリングカーをフォローしていくのかを明確にして欲しい。

委員 B

- ・B チームの社会資本の活用のところで、例えば、空き家利用については市がいわゆるリニューアルとかに支援をしていくとよい。若い人たちのアイデアを採用するようなことをしないとなかなか発展していかないと思うので、コンテストを開いて、良いアイデアに支援するというのも考えて欲しい。

委員 C

- ・D チームにて、新しい観光の在り方とか敦賀の良さを肝心の主役である敦賀市民の方に発信してもらおう提案、そして若者の視点で検討された、敦賀の良さの発信などと連動したスタンプラリーを提案した。
- ・大きな提案2つについての対応は良いと思うので、これをどう運用していくのか、ブラッシュアップするのが課題。

委員 D

- ・若者向けの企業誘致として、IT 企業の誘致は凄く良い。難しいとは思いますが大きい企業、知名度の高い企業を一つでも誘致できると、安心感から若者が敦賀に戻ってきて働けるのではないかと思う。

委員 E

- ・資料1と資料2の記載内容について、意図が変わっているように感じる書きぶりがある。皆さんの想いが一人一人あると思うので、例えば、事業提案1のAチームは、住んでいる人も観光客も使えるサイトを作ること、Bチームは、まちづくりプレーヤーみたいなものがキーワードになってくると思う。
- ・上手く文章に馴染んでないと感じるので、各委員が挙げたキーワードをもう少し分かりやすく反映すべき。

委員 F

- 一つの提案として、今回資料1-1に出されている手書きの事業提案書を総合計画の資料として載せてはどうか。

委員 G

- 人口減少対策というキーワードがあると思うが、子育て環境日本一というところの健康福祉分野等に、ひきこもりやニートに関する支援方針を打ち出してはどうか。
- 敦賀が住みやすい良いまちだというイメージに繋がるようなことになっていただけると嬉しいという思いがあり、そこまで踏み込んだ形でなくても、そういったことも協議しているというようなことが出せば良いと思う。

委員 H

- ものづくり産業懇話会の方で取り組んでいる事業として、小学生の科学体験教室などのいくつかのバージョンや、その他の企業で取り組んでいる若年層向けの地場産業の理解に向けた取組みがある。
- そういうものを積極的に活用していただければ、地元の会社とか、世の中にある自分の身近なものを小学生ぐらいからの段階で知っていただくことができる。
- 企業としても社会貢献ということで、非常にやりたいことだと思っているので、是非、そういった取組みをアピールしていただきたい。

委員 I

- スマートエリアの形成の関係で、リモートワークとか増えてきているが、負担になってくるのが通信料金だと思う。
- 公衆Wi-Fiの設置だとか、通信料金の支援といった事業も検討してはどうか。